

1 文献名
『豊浜東小学校百年の歩み 豊浜東小学校記念史』
2 学校名
豊浜東小学校
3 災害名
昭和 28 年（1953 年）台風第 13 号
4 記述の概要
（1）雨や風、地震などの様子
<p>9 月 25 日の夕方、台風第 13 号が接近してきて、高潮で堤防が決壊し、海水が濁流となって村内に流れ込んだ。（P31）</p> <p>昼間の風雨もおさまり、きれいな夕焼けを見ていた時、「水が来たぞう。」という叫び声があり、（堤防が決壊して）庭先へドオッと泥水が押し寄せてきた。（P42）</p>
（2）学校内や地域の被害の状況
<p>付近の教家族が学校へ避難してきたので、居残っていた職員数名で、2 階の教室へ臨時の避難場所を設営した。</p> <p>校舎内は床上 1m くらいの浸水で、玄関の大戸は濁流に押し流されて倒れ、厚いガラスは割れていた。室内は戸棚が倒れ、備品が散乱し、目も当てられない状況であった。（P31）</p> <p>庭先へ泥水が押し寄せてきて、水かさが増すばかりで、大急ぎで隣の 2 階へ避難させてもらった。翌朝家へ帰ると、畳は浮き、何もかも水浸しだった。（P42）</p> <p>流失物とものすごい水勢のために、玄関脇の二宮金次郎像の石の柵も壊れた。（P45）</p>
（3）復旧の様子
<p>泥水に浸ったものもあり、泥土の取り除きや、汚れ物を洗ったり、干したりするのに、職員・父兄・高学年など、皆で協力しての作業の日が続いたが、平常授業に戻るまでには、長い期間を要した。（P31～32）</p>
（4）体験談
<p>当時の教員と在校生による体験談が収録されている。（P31～32、P42。その概要の一部は、「4 記述の概要」の各項目に記載。）</p>
（5）教訓など
（6）その他
<p>十三号台風の傷跡として、校舎の被害状況やその後の復旧作業の様子を撮影した写真が収録されている。（P44～45）</p>